

現場のトラブル対応と理論の両面から攻める

ヒートシールをめぐる 不良対策の理論と実際

日時 2019年 **12月5日(木)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:00~13:00)

会場 日刊工業新聞社
大阪支社 セミナー会場
(大阪市中央区北浜東2-16)

主催 日刊工業新聞社

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)

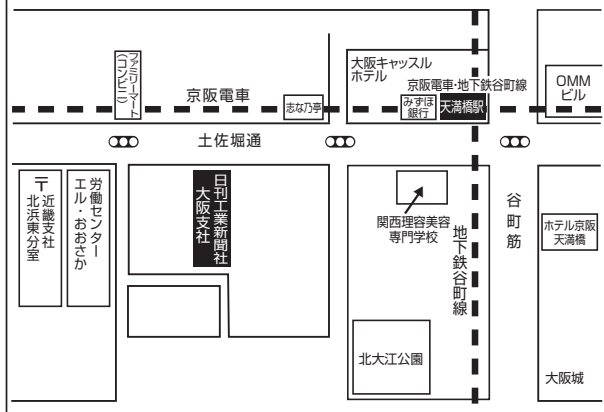
特別料金 27,500円*

(対象:当社通信教育講座「第54期包装技術学校」の受講生ならびに当該受講生の所属する企業の方)

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)

大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382

- *天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
- 新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
- 大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講 申込書

12/5 ヒートシール基礎

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料: 44,000円 (資料含む、消費税込)

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名	フリガナ ----- ※第54期包装技術学校受講中の方は✓印を記入□	業 種	
氏名	フリガナ ----- 部署・役職	TEL	
所在地	〒	FAX	
備考		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

包装の封かん用途などで幅広く用いられているヒートシールの技術ですが、ポピュラーな技法でありながら現場での不良トラブルが絶えず、またその解決方法について科学的なアプローチからの対処法が分からない、という声を多く聞きます。様々な実験や強度計算に基づいた理論的な裏付けだけでなく、実際に現場でどのようなトラブルが発生し、その対処を行ってきたか、今回はシーリング機械を実際に手掛けている現場の実体験と、基礎理論の両方を一気に知っていただくというセミナーです。

包装機械にかかわりのある方から接着剤メーカーなど、材料を手掛ける方まで幅広い業種、職種の方へお勧めします。

講師

(第1部担当)

ブリスターパック・ラボ 所長
有限会社 大青鉄工

佐藤 啓太郎 氏

(第2部担当)

東洋食品工業短期大学 包装食品工学科 講師
博士 (工学)

井上 保 氏

プログラム

第1部 (10:00~12:00)

- 「シーリングとパッケージをめぐる包装機械の実際」
～機械メーカーから見たヒートシールの裏技的考察～
1. ヒートシールとは？
 2. ヒートシールへのファクター
 3. 熱源の種類
 4. 機械的なポイント
 5. あくまでも「熱溶着」
 6. もっとも注視すべきこと
 7. 着く？ 着かない？
 8. 着かない？ さてどうする？
 9. 外的要因へのアプローチ
 10. 全ては素材の所為 ～組成なんて!!!～
 11. 親和性が大切 (ブリスター包装の場合)
 12. 3つどもえの争いになる前に
 13. 安定した包装環境にしていくために
 14. まとめ

第2部 (13:00~17:00)

- 「ヒートシール技術の基礎知識」
～基礎的な概念の理解から関連技術への応用のヒントまで～
1. プラスチック容器
 - 1.1 種類と材料構成
 - 1.2 使用材料の特性
 2. ヒートシールの基礎
 3. シール方法
 - 3.1 ヒートシール
 - 3.2 インパルスシール
 4. ヒートシールの不具合
 - 4.1 はみ出し
 - 4.2 発泡
 5. 適正なヒートシールの実施
 - 5.1 熱電対を使用する温度測定法
 - 5.2 溶着面温度に影響する因子
 - 5.3 実生産におけるヒートシール条件設定時の注意点
 6. 検査方法
 - 6.1 外観検査
 - 6.2 シール強度
 - 6.3 成形容器の破裂試験
 - 6.4 耐圧縮試験
 - 6.5 落下試験